
ユーノ・スクライアに生まれ変わり・外伝

KEI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ユーノ・スクライアに生まれ変わり・外伝

【Zコード】

Z79660

【作者名】

KEI

【あらすじ】

前世の記憶を持ったユーノ・スクライアは歴史を変えた、本当に?
これは彼とは別の場所で歴史と戦い、あるいは歴史に翻弄されたものたちの話。

外伝の一

諸君 私は平和が好きだ。

諸君 私は平和が好きだ。

諸君 私は平和が大好きだ。

惰眠が好きだ、 娯楽が好きだ、 美食が好きだ、 入浴が好きだ、 乱読が好きだ、 浪費が好きだ、 悪戯が好きだ。

自室で、公園で、駅で、喫茶店で、待合室で、会場で、機上で、有明で、ネットで、この地上で行われる ありとあらゆる平和行動が大好きだ。

戦列をならべた紳士の一斉突撃が 轟音と共に敵陣を吹き飛ばすの
が好きだ。
スタッフ

尊き信念の下、意中の品を手に入れたときなど心が躍る。

クリエイターが汗と涙をこめて作り上げた作品が好きだ。
未知の世界で左も右も分からぬ様で剣と魔法とを駆使し、廢人友とともにミッションをクリアしたときなど胸がすくような気持ちだった。
年齢制限を偽つてこの指定をこいつそり購入するのが好きだ。
工口描写に惑わされず大当たりの物語に当たったときなど感動する覚える。

気に入ったラノベ作者の作品を片っ端から大人買いする様などもうたまらない。

時間も空腹も忘れ、ただ活字の世界に浸り続けるのは最高だ。

哀れな無理解者達が雑多な感情論で健気にも立ち上がってきたのを、

問答無用の理性的な反論で相手の縋るよりしうすら取り込み、木端微塵に粉碎した時など絶頂すら覚える。

人権団体に滅茶苦茶にされるのが好きだ

必死に守るはずだった作品たちが蹂躪され、発禁処分の憂き目に遭う様は、とてもとても悲しいものだ。

大手資本の物量に押し潰されて殲滅するのが好きだ。

大量の宣伝広告に追いまわされ、本屋の片隅にすら置かれず幻扱いされるのは屈辱の極みだ。

諸君、私は平和を 地獄の様な平和を望んでいる。

諸君、私に付き従う一愛娘『マイ ラブリー ドーター』諸君。

君達は一体、何を望んでいる?

更なる平和を望むか?

情け容赦のない 薙の様な平和を望むか?

鉄風雷火の限りを忍くし 三千世界の鴉を殺す 嵐の様な怠情を望むか?

「平和！－平和！－平和！」

よろしい、ならば平和だ。

我々は満身の力をこめて今まさに振り下ろさんとする握り拳だがこの暗い闇の底で四半世紀もの間堪え続けてきた我々に、ただ

の平和ではもはや足りない！－

大平和を！－一心不乱の大平和を！－

我らはわずかに一家族 十人に満たぬ引きこもりにすぎない。
だが諸君は 一騎当千 の古強者だ と私は信仰している。
ならば我らは 諸君と私で総兵力五千と1人の大規模サークルとなる。

我々を忘却の彼方へと追いやり、眠りこけている連中を叩き起しやう。

髪の毛をつかんで引毛すり降ろし、眼を開けさせ思ひ出せよ。連中に情眠の味を思ひ出させてやる。

連中に我々のGペンの音を思ひ出せよ。やる

天と地のよがよこは、奴らの哲学では思ひもよらない事がある」とを思ひ出させてやる。

六人の引きこもりの集団で、世界を萌やし尽くしてやる。

スカリエッティ一家 家長より－愛娘《マイ ラブリー データー》たちへ

第一次 粗大ごみ脳腐れ破棄作戦 状況を開始せよ

征ぐぞ 諸君

ようやく、ようやく私は解放される。

長かつた、本当に長かつた。

滑つて転んで頭を打った拍子に魂が抜け、次の瞬間にはあつさり成仏したスカリエッティの穴埋めに憑依転生させられてからの労働の日々。

なんと長かつたことか。

その間に私は怯え続けてきた。

確かにこの頭脳にはスカリエッティの知識がある、だがそれだけで彼の研究を引き継げるわけではない。

戦闘機人も人造魔導師も、極めて曖昧なのだ。

そう、生命操作関連のそれは技術ではなかつた。

具体的には、『こんな感じに細胞分裂が始まつたら、そんな感じに刺激を与えて、そういう感じに仕上げる』といった具合で数値が全く記憶しない。

これは技術ではない、むしろ芸術とかそのあたりの個人の感性に従つたものだ。

よつて、脳味噌どもの要求する生命操作研究なんてやりようがない。そんな事真面目に報告したら用済みになつてアボン。

やだ、絶対やだ、死にたくない、いきなり私のニートで引きこもりでオタクなライフが終わらされて、それでも意識が継続してくるからやり直せるかと思つたら労働しないと殺される。

なんて不幸なんだ！！

断腸のおもいで、生命操作関連の知識を細々とまとめつつ、レジアスさんに頼まれた魔導アーマーを量産化に協力し、合法口り以降の機人が出来ないのをごまかし。

やつと、やつと労働から解放される…！

「ドクター」

「ドゥーワか」

「ようやくですね」

「ああ。君にはパパラッチまがいのことまでさせてすまなかつたね」

「いえ、ドクターのお役に立てたのならば幸いです」

ナンバーズの2、彼女にはその能力を利用して管理局高官の様々な醜聞をすっぱ抜いてもらつた。

今現在は、それらをウーノとクアットロが編集している。つい先日、プレシア・テスタロッサの冤罪関連でござついている所にさらに様々な証拠つきでながし、また一部はレジアスさんに提出する予定だ。

レジアスさんはいい人だ。

最初のうちこそは、『犯罪者』である私とかかわらざるを得ないことに苦虫をかんだような顔をしていたが、ポツリポツリと私こと『ジエイル・スカリエッティ』のことを洩らし、唯穩やかに暮らしたいことを匂わせたらいろいろと考えてくれるようになった。

秘書さんやつてたウーノをそれとなく地上本部に受け入れて、脳味噌に気付かれぬ連絡手段も作ってくれた。

ウーノもオーリスちゃんと仲良くなり、夏と冬のイベントでは合同

誌を出すほどだ……レジ×ジェイ、ゼス×ジェイ、レジ×ゼス×ジエイでさえなければ心の底から喜べたのに……しかも毎回完売だし、この前の『ジェイル総受け触手地獄、最高評議会の闇』にいたっては、送られてもどう返事を返せばいいのやら。

ドゥードーはショタや幼女、トーレは百合、クアットロはあれで以外にも純愛系。

チングはどうして理解してくれないかなあ。

ちなみに、すっぱ抜かれた高官には三提督もいる。

ミゼラント・クローベルは年端の行かない少年たちを多數囮ついていて、その仲には人造魔導師計画がらみで社会的弱者にされている子供たちが多數いる。

なんというか、表向きにはやさしいお婆ちゃんなのだが、どうしてこうして。

レオーネ・フィルスはその逆で少女たちを買つていて。

うちのチングにおとり捜査をさせたのだが、

『嘆かわしい、君のような幼い少女がこんなことをするとは。軽い火遊びのつもりのようだが、わしは大人として社会の恐ろしさを教えなければいけないようだ』

などといって、いきなりホテルに連れ込んでコトに及ぼうとした。幸いチングが気合と根性で彼の股間の『金^{ゴールデンボール}』をランブル^{デトネイタ}ーした結果難を逃れたが。

チングには、ヒヒ爺と金と暴力と権力でいきなり攫われたところを命からがら逃げ出した被害者としていろいろ証言してもらう予定だ。

ラルゴ・キールは性欲はないのだが物欲がすさまじい。

あの手この手で資産の増加に余念がない。

この爺さんが何らかの形でかかわった犯罪捜査では、なぜか被害者

の財産や犯罪者および組織の資産が消えうせている。

場合によっては犯罪に遭つていないはずの人間が被害を受け「くなつて」いるとか。

ある意味先の一人よりも黒すぎる。

他海の高官連中は裏技と言つては普通に法を犯しているし、予算？何それ美味しいの？とばかりにアホな金使いするし、その割に自分の給料にはつるさこし。

細かいところをあげればきりがない。

陸？横領するほどの予算はないし、レジアスさんがあれで真面目で有能だから迂闊な違法はあっさり見つかるし、全くの潔癖とは言わないけど海に比べれば真っ白にしか見えない。

まあともあれ、よつやく楽になれる。

どつも、地上本部技術開発部のジェイルです。

私の資産？の全てはあれです、脳味噌どもが管理局の予算からちよろまかしたものでした。

当然レジアスさんがそんな不正を許すわけもなく、全て管理局の予算として正しく運用されました。

一応それまでの私の活動を、局員として扱つてもらい給料としてもうございましたが、お金が大変な管理局ですから一生遊んで暮らせるような額ではありません。

つまり……働くくてはならない……

そんな……どうして……私の一ートで引きこもりでオタクなライフは……

外伝の一（後書き）

某演説のパロディですが、われながら文才がない。ちなみにジョイルさんに憑依した人がこの演説をしたのは、つてハイにならなくちゃ怖くて行動に出れないからです。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7966o/>

ユーノ・スクライアに生まれ変わり・外伝

2010年11月9日00時58分発行